

はじめに

砥部町は、豊かな自然と歴史により文化が栄え、貴重な文化財や民話などが多くの人々によって伝承されています。

文化財は私たちの心の安らぎや、潤いのある生活環境を提供してくれるばかりでなく、歴史や文化の正しい理解のために欠くことのできないものであり、優れた文化の創造と発展の基礎となるものです。このような貴重な国民的財産である文化財を保存し、後世に伝えていくことが私たちの責務であると考えます。

現在の日本は、物質的には豊かな国になりましたが、反面、心の豊かさが失われ、生き方の多様化によりふるさと意識も変容し、文化遺産の大切さが忘れられつつあります。

このような時代を背景に、ふるさとの文化財の愛護・伝承の願いを込めて「砥部の文化財」(昭和60年10月)が発刊されました。その後、平成4年3月、平成14年3月に改訂版が発刊されました。また平成17年1月に広田村と合併したことを受けて、同年3月には「広田地区の文化財」が刊行されました。

このたび、「砥部の文化財」「広田地区の文化財」を一冊にまとめ、新たな指定文化財を加え再編することといたしました。この冊子を読んでもらうことで、改めて砥部町の良さを知っていただければ幸いです。

最後に、本書の刊行にあたり、関係者のご協力に深く感謝申し上げます。

令和2年1月

砥部町教育委員会

教育長 武智 省三